

# 特定非営利活動法人 環境の杜こうち 2011 年度第 30 回理事会議事録

- 1 日時 2011 年 10 月 13 日(木) 13 時 00 分～17 時 00 分
- 2 会場 こうち男女共同参画センター プライベート室
- 3 理事総数および出席者数  
理事総数 13 名 出席者数 12 名  
出席理事 石川妙子、上野伊佐子、内田洋子、兼松憲一、兼松方彦、坂本彰、谷川徹、  
滝石典子、松本和子、宮地亀好、谷地森秀二、山本稔  
事務局 上田史、近藤純次、塚崎由子
- 4 議長 議長 \_\_\_\_\_ 印
- 5 議事録署名人 議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印 ・ \_\_\_\_\_ 印
- 6 議事録作成人 事務局 塚崎

議長は定款に基づき理事長が就いた。議事録署名人は兼松憲一理事、谷地森理事、議事録作成は事務局とすることを全員一致で承認した。

## 7 報告事項（特に表記の無い項目については事務局長が報告）

### ①2011 年度事業計画および 9 月事業経過（資料 1-1）

ECO まなぶについては、外部評価委員会より、環境活動支援センター周辺に駐車場を確保することが求められている。近隣の駐車場の状況について確認し、来年の予算に反映させていく。

### ②委託業務内容確認（資料 1-2）

エコクラブ登録人数の数値については、6 月から登録者数 516 名のままで変更無し。

### ③収支報告（資料 1-3）

上半期の収入金額：8,406,275 円。支出金額：1,790,489 円。収支：▲1,790,489 円。

- NPO 会計基準の変更に伴い、損益のバランスが分かるよう、収支表は随時改定を加えていく。
- 収入予算に自主財源 390 万円が入っているが、実施（予想）額には入っていないという指摘を受けた。本来は経費として支出側に入れるべきなので、改定する。
- 人件費の大幅な引き下げと、それに伴う一般管理費の減少が財政悪化の原因。社会保険料等も一般管理費からの支出であるため、安定的な雇用が難しい状況にある。

### ④各部会からの報告

#### ○環境活動支援センターえこらぼ部会（谷地森部会長 資料 1-4）

10 月 3 日（月）に実施した部会のまとめを報告し、部会の役割について以下の見解を述べた。

「環境活動支援センター」事業の内容と、「えこらぼ部会」で取り組んでいる独自の活動については明確に切り離れたほうがよく、また、「えこらぼ」の名前により混乱が生じていることも認識している。経営施策の職務権限と組織（部会）規定・体制の見直しと整備にあるように、「えこらぼ部会」を廃止し、5 つの部会を設置するというのであれば、3 日の部会で話しあった内容は、かなり違った見解となるため、再度、意見調整を行う必要がある。

#### ○地球温暖化防止センター部会（松本部会長 資料 1-5）

10 月 12（水）に部会を実施。進捗状況の報告と今後のイベントの確認を行った。

- 温暖化防止フォーラムについては、えこらぼの文化祭とは別に開催することが決定した。
- うちエコ診断は、10 月 22、23 日の「高知もくもくランド 2011」でも実施する。

### ⑤会員数の報告（資料 1-6）

9 月 14 日に弘瀬俊幸氏が入会。正会員数 66 名、活動会員 16 名、合計 82 名となった。

### ⑥県民会議県民部会が「袋削減ワキグ」主催「男も持つぞ！マイバッグキャンペーン」（別紙資料 1-7）

- これまで県民会議会員に限っていたが、今年度から県内の団体・事業所であれば参加可能。
- 10 月 2 日、キックオフイベントを実施。県と協議した上で、来年度以降の予算化を目指す。

## ⑦広報活動報告（資料 1-8）

- 10月1日に、「男も持つぞ!マイバッグキャンペーン」キックオフイベントのニュースリリースを発行。
- 広報セミナーの実施と、環境記者クラブの設置を検討中。個々の団体活動であっても広報に関することであれば事務局が相談に応じる。

## ⑧交通エコポイント活用社会還元事業「ですかでゴー」（資料 1-9）

- 寄付金を募って事業継続するにあたり、県民会議県民部会事業としての位置づけを整理した。
- 今後、交通エコポイントの有効活用につなげていくため、「交通エコポイント活用社会還元事業」の実施に関する要綱案を作成。還元事業の一環として、今年度は「ですかでゴー」を実施する。

## ⑨新定款（別紙資料）

変更申請をしていた定款の縦覧が9月7日に終了し、認証された。評議員および評議員会の設置についての条文を、第6章の次に設けて第7章とし、以降を1章、2条ずつ繰り下げた。

## 8 検討事項

### ① 大型プリンター（プロッター）の購入について（資料 2-1）

**【決定事項】** 篠原化学薬品より購入する。原資のエコポイント寄付金が39万円であるため、ロール紙とインクの追加を要望する。

## 9 審議事項

### ① 生物多様性「にじゅうまるプロジェクト」に関する報告及び申請について（谷川理事 別紙資料）

キックオフイベントの内容とプロジェクトの見通しを報告し、申請登録についての審議を求めた。

**【決定事項】** 戦略としてとらえた上で、谷川理事と事務局で情報収集と意見の調整を行う。

### ② 環境の杜こうち 経営戦略及び短中期経営計画案について（別紙資料）

資料をもとに、立案の背景の再確認と要点の説明を行った。

- 環境政策における研究や提案、環境学習の推進、その他事業への積極的な取り組みが今後の課題。
- 環境活動に関する問題解決力（専門家による計画と実行）の発揮が、新たなビジネスモデルとして期待される。
- 県がNPOに期待する役割については高知県環境基本計画に明記されており、これを認識する。
- 2013年度に収支±0の実現と、2014年度以降の中長期的な安定収入の基盤構築を目指す。
- 認定NPOを視野に入れた管理体制づくり、職務権限、組織規定、体制の見直しと整備を行う

#### 【確認事項】

- 提案された5つの部会（環境活動支援部会、企画開発部会、温暖化防止事業部会、広報部会、CS・ES部会）については、設置の方向で進める。メンバー構成等、できることから取り組んでいく。
- 県との定例会は前向きに捉え、意見交換や提案の場とする。理事会前の開催がよいと思われる。

## 10 その他

- 「えこらぼの文化祭」実行委員会の実施については、メールで日程調整を行う。
- 「リオプラス20（国連持続可能な開発会議）」については、谷川理事が生物多様性の枠組みで活動しており、市民ネットワークの幹事となったため、この議席を通じた情報発信が可能。3.11震災以降の社会構築についてのコミットメントおよび組織について、興味がある方は谷川理事まで。

今後のスケジュールについて確認を行い、議長が閉会の挨拶をし、理事会が閉会した。

以上